

平成 24 年 12 月 13 日

各位

株式会社ルネサンス

平成 24 年度 神奈川県事業活動温暖化対策排出状況報告書について

神奈川県地球温暖化対策推進条例第 14 条の規定により提出した平成 24 年度神奈川県事業活動温暖化対策排出状況報告書を公表いたします。

以上

本件に関する問合せ先  
経営企画部 / 03-5600-5457

排出状況報告書（特定大規模事業者用）

平成 24 年 7 月 27 日

神奈川県知事殿

郵便番号 130 - 0026

住 所 東京都墨田区両国2-10-14  
両国シティコア3階

氏 名 株式会社ルネサンス  
代表取締役社長執行役員 吉田 正昭



神奈川県地球温暖化対策推進条例第14条の規定により、次のとおり提出します。

1 事業者の名称等

事業者の氏名又は名称及び法人にあっては、代表者の氏名		株式会社ルネサンス 代表取締役社長執行役員 吉田 正昭		
事業者の住所又は主たる事務所の所在地		東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア3階		
特定大規模事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業者（神奈川県地球温暖化対策推進条例施行規則（以下「規則」という。）第2条第1号該当の事業者）	原油換算エネルギー使用量の合計量	3,680 k1
	<input type="checkbox"/>	連鎖化事業者のうち、年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業者（規則第2条第2号該当の事業者）		うち
	<input type="checkbox"/>	対象自動車を100台以上使用する事業者（規則第2条第3号該当の事業者）	使用台数	うち
主たる事業の業種	大分類	<input type="checkbox"/> A 農業, 林業 <input type="checkbox"/> K 不動産業, 物品賃貸業 <input type="checkbox"/> B 漁業 <input type="checkbox"/> L 学術研究, 専門・技術サービス業 <input type="checkbox"/> C 鉱業, 採石業, 砂利採取業 <input type="checkbox"/> M 宿泊業, 飲食サービス業 <input type="checkbox"/> D 建設業 <input checked="" type="checkbox"/> N 生活関連サービス業, 娯楽業 <input type="checkbox"/> E 製造業 <input type="checkbox"/> O 教育, 学習支援業 <input type="checkbox"/> F 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> P 医療, 福祉 <input type="checkbox"/> G 情報通信業 <input type="checkbox"/> Q 複合サービス事業 <input type="checkbox"/> H 運輸業, 郵便業 <input type="checkbox"/> R サービス業（他に分類されないもの） <input type="checkbox"/> I 卸売業, 小売業 <input type="checkbox"/> S 公務（他に分類されるものを除く） <input type="checkbox"/> J 金融業, 保険業		
	中分類	N 80 娯楽業		
連絡先	部 署 名 施設開発部 省エネルギー化推進チーム 電 話 番 号 03 - 5600 - 5441 F A X 番 号 03 - 5600 - 5359 電子メールアドレス ogura_s@s-renaissance.co.jp			

※ 受 付 欄		※ 特 記 欄	
------------------	--	------------------	--

(第2面)

2 計画期間

22 年度 ~ 24 年度	報告対象年度	23 年度
---------------	--------	-------

3 エネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び削減の目標 (規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)

県内に設置しているすべての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	基準年度	21 年度 ( 年度 ~ 年度)			
	基準排出量の合計量	(実) 3,440 (調) 3,040	tCO <sub>2</sub>	最終年度における排出量の合計量	(実) 3,403 (調) 3,010 tCO <sub>2</sub>
	報告対象年度における排出量の合計量	(実) 3,000 (調) 2,670	tCO <sub>2</sub>		
県内に設置しているすべての工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類	利用者数		排出量原単位の単位	tCO <sub>2</sub> /千人
	基準年度における排出量原単位	(実) 2.81 (調) 2.48	tCO <sub>2</sub> /千人	最終年度における排出量原単位	(実) 2.78 (調) 2.46 tCO <sub>2</sub> /千人
	報告対象年度における排出量原単位	(実) 2.44 (調) 2.17	tCO <sub>2</sub> /千人		
報告対象年度におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明	<p>■23年度までの各取組による温室効果ガスの削減は、&lt;1&gt;外気温影響の1.97%増(全社値)を除くと約15%の改善となった。好結果の要因は、昨年の節電の取組を7/1以降継続したこと、またエネルギー合理化投資を積極的に展開させたことによると思われる。具体的には以下の通りです。</p> <p>①ジム室温の適正化【23年9月実施開始。横浜・川崎除く▲46t、横浜・川崎市▲66t-co<sub>2</sub>/年】神奈川県内のジム室温を月別に決定。(22年9月~23年8月で選定)23年9月より、実オペレーションで展開中。また、月別に換気設備と空調設備の設定方法のマニュアル作成し、中間期における外気冷房の活用を積極的に行い、空調エネルギーの節約を行なっている。</p> <p>②温水ヒーター燃料削減装置の導入【22年実施。横浜・川崎除く▲8t、横浜・川崎市0t-co<sub>2</sub>/年】燃料の効率的燃焼を促進する付帯設備を導入し、燃料の削減を行う。 22年度導入・・・相模大野</p> <p>③ろ過循環インバーター化【22・23年度実施。横浜・川崎除く▲46t、横浜・川崎市▲24t-co<sub>2</sub>/年】24時間稼働の大型のろ過ポンプをインバータ化し、非営業時間帯の節電を図る。 22年度導入・・・相模大野、天王町 23年度導入・・・鶴間、港南台 24年度導入予定・・・港南中央、大和</p> <p>■夏の節電対応 弊社では、神奈川県内の各事業所で7月1日より節電を『夏』は節電強化期(23年度は15%、24年度は10%)『春・秋・冬』を通常節電(5%)で実施中である。オリジナルのシュミレーションで個別に節電計画と告知ポスターが作成できるシステムを開発済み。 &lt;主な取組&gt;①照明の昼用・夜用の間引き、②温浴アクションの制限、③省エネ・室温、④新型インバーターの導入など</p>				

設置しているすべての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	工場等における排出量	基準排出量の合計量	(実) tCO <sub>2</sub> (調)	最終年度における排出量の合計量	(実) tCO <sub>2</sub> (調)
		報告対象年度の排出量の合計量	(実) tCO <sub>2</sub> (調)		
	工場等における排出量原単位	原単位の指標の種類		排出量原単位の単位	
		基準年度における排出量原単位	(実) tCO <sub>2</sub> (調)	最終年度における排出量原単位	(実) tCO <sub>2</sub> (調)
		報告対象年度における排出量原単位	(実) tCO <sub>2</sub> (調)		